

練習課題 6 小規模なりゾートホテル

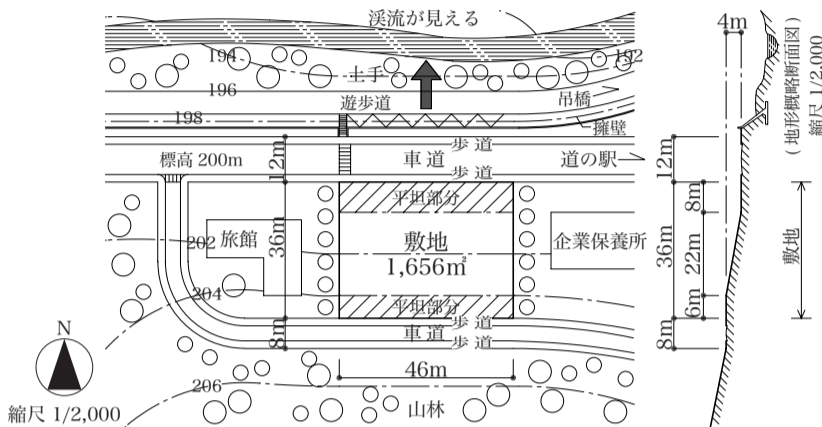
I. 設計条件

この課題は、ある地方の溪流沿いにある観光地において、休養と観光を目的とした滞在型リゾートホテルを計画するものである。

本施設は周囲の良好な景観を取り入れるとともに、建築敷地内の高低差を有効に活用するものとする。また、計画に当たっては、環境負荷低減のため、自然エネルギーを利用し、快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を、積極的に取り入れるものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地の北側平坦部分と道路、南側平坦部分と道路との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、準住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建蔽率の限度は60%、容積率の限度は200%である。なお、景観保全ため主要な屋根は2/10以上の勾配屋根が指定されている。
- 電気、ガス、上下水道は、完備している。
- 地盤の状況は、表土(地表から-1.5mまで)直下の地層はN値=0~5の砂混じりシルト層(地表から-1.5m~-8m)であり、その下にN値=30以上の密実な礫層(地表から-8m~-15m)がある。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、2,200㎡以上、2,700㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・宿泊客の定員は40名とし、共用部門のセミナー室、食堂及び温浴部門については事前に予約がある日帰り客も利用できるものとする。			
宿泊部門	宿泊室A (洋室・2人室)	・9室計画する。 ・ベッド、浴室、洗面、便所、談話スペース、ミニキッチン、ライティングデスク、収納等を設ける。	各約35㎡ 計約315㎡
	宿泊室B (洋室・2人室)	・6室計画する。 ・ベッド、浴室、洗面、便所、談話スペース、ミニキッチン、ライティングデスク、収納等を設ける。	各約25㎡ 計約150㎡
	宿泊室C (和室・10畳)	・2室設ける。 ・床の間、押入れ、浴室、洗面、便所、談話スペース(板の間)、ミニキッチン、収納等を設ける。	適宜
	宿泊室D (洋室・2人室)	・車椅子使用者用とする。 ・ベッド、浴室、洗面、便所、ミニキッチン、ライティングデスク、キャスター付きテーブル、収納等を設ける。	
	談話コーナー	・10人程度が利用できるソファセットを設ける。	
	洗濯室	・コインランドリー形式とする。	
	温浴部門	大浴室	・男性用、女性用として、それぞれ10人程度が利用できるようにする。 ・脱衣室にはロッカー、洗面コーナー、便所を設ける。
マッサージ・エステルーム			
休憩コーナー		・入浴後15人程度が利用できるよう椅子、テーブルを設ける。 ・自販機を設ける。	
案内受付		・温浴部門全般の案内を行う。	
エントランスホール2		・風除室を設ける。	
共用・管理部門	エントランスホール1	・地下1階とし、風除室を設ける。 ・上部に50㎡以上の吹抜けを設ける	適宜
	食堂	・45人程度が利用できるよう椅子、テーブル、レジ、ピュッフェコーナー、厨房を設ける。	
	ラウンジ	・20人程度がくつろげるようソファセット及び新聞・雑誌用の書架を設ける。	
	セミナー室	・無柱空間とし、天井高さは6m以上とする。 ・2室に分割して利用できるものとする。	
	スーベニアショップ	・レジを設ける。	約60㎡
	事務室	・4人分の事務スペースを確保する。	
	仮眠室	・事務室と直接行き来できる。	
	フロント	・受付カウンターを設ける。	
	従業員更衣室	・男性用、女性用として2室設ける。	
	従業員控え室		
リネン庫			
設備スペース (設置階は適宜)	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給湯・給排水衛生、循環ろ過、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。		
・便所、エレベーター、倉庫及び通用口については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- オープンスペースは、地上に設けるものとし、100㎡以上とする。
- 戸外風呂(男女各20㎡以上)を外気に開放された建築物のいずれかに設け、大浴室から直接行き来できるものとする。
- 駐車場は、車椅子使用者用として1台分、サービス用として2台分、送迎車用(3.5m×5m)として1台分、利用者用の一般車として6台分とし、主出入口にはキャノピー付き車寄せを設ける。なお、その他の利用者用及び従業員用の一般車等の駐車については、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- ごみ置場(面積適宜)を設ける。
- (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物は特別特定建築物としてバリアフリー法の円滑化誘導基準に配慮する。
 - 宿泊部門、温浴部門、及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明解な動線計画とするとともに、宿泊ゾーンの独立性に配慮する。
 - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽に配慮する。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式及びスパン割り及び構造部材の断面寸法を適切に計画する。
 - 斜面地を考慮した建築物の耐震性に配慮し、耐力壁等を設ける。
 - 地盤状況に配慮し、基礎方式を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給湯・給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。
 - 太陽熱、地中熱、井水、植栽等を利用するなどし、環境負荷低減に配慮する。

II. 要求図書

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示してもよい。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階(又は地下1階)平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図は敷地南側の配置図を兼ねるものとする。 ② 地下1階平面図は敷地北側の配置図を兼ねるものとする。 ③ 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等(宿泊室A、B、C及びDの表示は、ト、チ、リ、ヌによる。) ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要宿泊室Aの室名(A1~A9) チ. 宿泊室Bの室名(B1~B6) リ. 宿泊室Cの室名(C1、C2) ヌ. 宿泊室Dの室名D ル. 代表的宿泊室A、宿泊室Bと、宿泊室C及び宿泊室Dの室内プラン ヲ. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等 ッ. 戸外風呂の位置 ④ 平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。)及び車寄せ、オープンスペースの位置 ハ. ドライエリアの位置(ある場合のみ) ニ. 通路、植栽等
(2) 地下1階平面図 1/200	⑤ 1階平面図には、地下1階の屋根、ひさし等となる部分を図示又は記入する。 ⑥ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ロ. 1階の屋根、ひさしとなる部分 ハ. 2階の屋根形状(軒先、棟等を一点鎖線で図示する。)
(3) 1階平面図 1/200	
(4) 2階平面図 1/200	
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、吹抜けを含む南北方向とし、建築物の立体構成及び勾配屋根の形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 北側道路(標高200m)をGLとした建築物の高さ、階高、天井高、地下1階の床高、主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

地下1階~地上2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の①~④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - オープンスペースの計画について工夫したこと
 - 車寄せ及びキャノピー、各駐車スペースの計画について工夫したこと
 - 食堂、案内受付の計画について、その位置とした理由及び工夫したこと
 - エントランスホール1上部の吹抜け計画において工夫したこと
- 構造計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 構造上の特徴及び構造計画に特に関与したこと
 - セミナー室の上部(屋根又は床スラブ)構造の「部材の断面寸法」及び構造計画について工夫したこと
 - 建築物における基礎計画について工夫したこと
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物において採用した給水方式とその理由及び工夫したこと
 - 「非常用自家発電機」、「浴槽ろ過機」及び「消火栓ポンプ室」について設置した位置を記入し、維持管理及び機器更新について配慮したこと

試験場	受験番号	氏名